

令和 8 年度第 2 回総合教育会議 会議録

【開催日】 令和 8 年 7 月 2 3 日

【開催場所】 市役所本館 3 階第 2 委員会室

【開会・閉会時間】 午後 4 時 1 3 分～午後 4 時 3 7 分

【出席者】

市長	藤田 剛二
教育長	長友 義彦
教育長職務代理人	竹田 佳枝
教育委員	末永 育恵
教育委員	河村 芳高
教育委員	嶋本 顕

【事務局出席者】

・市長部局

企画部長	和西 禎行
企画部次長兼企画課長	河田 圭司
企画課主幹兼政策調整係長	竹内 広明
企画課主幹兼大学連携室長	大坪 政通

・教育委員会事務局

教育部長	矢野 徹
教育総務課長	杉山 洋子
教育総務課主幹	鈴木 一史
教育総務課主査兼総務係長	原野 裕美

【議事】

1 開会

2 市長挨拶

3 議題

山陽小野田市立厚狭小学校の移転整備について

4 その他

5 閉会

午後 4 時 1 3 分 開会

1 開会

○河田企画部次長兼企画課長 それでは皆様、お待たせいたしました。総合教育会議の開会に先立ちまして、御連絡がございますので、御説明させていただきます。御発言の際でございますけれども、お手元のマイクのスイッチを押していただきまして、ランプが点灯してから御発言をお願いしたいと存じます。大変恐縮ですが、御発言が終わられましたら、再度ボタンを押していただき、消灯を御確認いただければと思います。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○和西企画部長 それではただ今から、令和 8 年度第 2 回山陽小野田市総合教育会議を開催します。会議の議長は、運営要綱により市長となっております。御挨拶の後、この会議の議事録に署名していただける方 2 名を指名していただき、引き続き進行をよろしくお願いいたします。

2 市長挨拶

○藤田市長 はい。皆さん、こんにちは。本日は教育委員会会議に引き続きということで、お疲れのところ恐縮ですが、よろしくお願いいたします。この総合教育会議は、教育委員会、そして市長部局がしっかり連携をするということが大きな目的でございます。この度は、厚狭小学校の移転整備という大変大きなプロジェクトがテーマでございますので、またしっかりこの場でも有益な意見交換の場としていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速、議事を進めてまいります。まず会議録の署名でございますけれども、長友教育長、それと竹田教育長職務代理者をお願いしたいと

思います。よろしくお願いいたします。

3 議題 山陽小野田市立厚狭小学校の移転整備について

○藤田市長 それでは早速、議事に入ります。まず、次第3、議題、厚狭小学校の移転整備について、でございます。まずは長友教育長から、この会議に先立って開催されました教育委員会会議における、厚狭小学校の移転整備についての議案の審議結果について、御報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○長友教育長 はい。先ほど行われました7月の定例会におきまして、厚狭小学校の移転整備について議案を上げ、それについて議論をいたしました。結果的には、移転整備については全員賛成で可決ということになりました。中では、移転に関していくつか意見がありました。その意見は、少し事務局の説明が足りなかった部分もあるのですが、移転が少し唐突に話として出てきたということでした。ただ、そもそも厚狭小学校は耐力度調査をするということが決まった時点で、改修改築の方向で進めるという大きな流れがあったわけですが、その中で今回、様々な事情があつて、その土地でどうかという話があつたと。その中で、子どもたちのことを考えて、やはり工期が短くなること、それから安心・安全を考えると、移転して整備した方がよいだろうと、そういうような意見になりました。全体で幾らかかるのかという部分もありましたけれども、まだそこについては十分に積み上げができていないというところでの事務局からの報告もありました。それらを含めて検討した結果、先ほど申し上げましたように、移転ということで決定いたしました。以上でございます。

○藤田市長 はい、ありがとうございました。それでは続いて、私の方から、市長部局としての移転整備に当たっての考え方について、既に十分説明を受けていらっしゃると思いますけれども、改めて皆様と認識を共有させていただきたいと思います。ただ今、教育委員会会議において、厚狭小学校

の移転整備について議決されたとの御報告をいただきました。長友教育長をはじめ、委員の皆様方には、厚狭小学校の移転整備について御理解をいただきまして、誠にありがとうございます。この決定を受けまして、市長部局の考え方について、改めて皆様と認識を共有し、今後の力強い連携をお願いしたいと思います。既に発表しておりますが、移転整備に当たりましては、毛利勅子氏の理念の継承、地域交流、地域貢献、山口東京理科大学との連携を念頭に置いて取り組んでまいりたいと考えております。また、長友教育長からの御報告にもございましたが、移転整備により事業スケジュールの短縮が期待できます。市といたしましては、この工期短縮を最大限に生かし、可能な限り早期の完成を目指したいと考えております。設計に向けて必要な予算を、令和9年度、来年度には措置するように取り組んでまいります。このプロジェクトの推進に当たりましては、市長部局の全庁体制はもちろんでございますけれども、市長部局と教育委員会との密な連携が必要不可欠と考えております。つきましては、教育委員会の皆様方には、専門的な知見から、具体的な整備内容の検討を力強く御指導いただくことを期待しております。今回の決断は、未来を担う子どもたちの教育環境の充実を最優先に考えた最善の選択であると確信をしております。皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

これにつきまして、御質問や御意見等がございましたら、せっかくの機会でございますので、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。先ほども教育委員会会議でお話をされたということなので、それと重なっても当然でございますので、改めてこの総合教育会議の場で、ぜひ御発言いただけたらと思います。

○長友教育長 では、まず私から。小学校の移転整備ということで進めていただけるということで、大変ありがたく思っています。その中で、今、学校はコミュニティ・スクールということで、地域との連携をすごく進めております。ですので、かなりまちづくりとか、そういったところにも影響があるのではないかと考えています。ですので、まちづくりと一体となった学校づくりができればいいなというふうに思います。そういうところで、

地域であったり、市長部局であったりというところと、しっかり意見交換する場を多く持ちたいというふうに思います。

○藤田市長 はい。先ほど私の再度の説明の中で、毛利勅子氏の理念の継承、地域交流、地域貢献、山口東京理科大学との連携という中に、今おっしゃった趣旨は十分含まれていると思っておりますので、そこをしっかりと整理しながら進めてまいりたいと思います。ほかに何かございませんか。

○河村委員 厚狭小学校の移転は、南校舎のところへということでもいいとは思いますが、10年くらい前ですかね、消防署をどこに移転しようということが厚狭で起こりまして、今の南校舎に南校舎に近いところの田んぼ、当時は田んぼでしたけど、そこに消防署を移転したらどうかと決まりかかったんですが、いま、あの辺りで一番交通量が多いのが国道316号、ちょうど丸久と本屋がある十字路が一番多いんですよね。それで、どうしても救急で出る時に交差点に近いし、交通量が多いので、時間を急ぐときにスムーズに出られるのかどうだろうかとということが問題になりまして、多分市議会で反対されて、今の元の山陽中央病院の上、富士電機のところですかね、あそこに場所を変えることになったというのが、やっぱり交通環境が非常に悪いということだと思います。当時以上に今は交通量が増えています。特に国道316号と敷地が重なっていますので、そこが非常に私は心配しております。それで、さっき資料もらったんですけど、スクールゾーンの設定ということで、この時間帯と進入禁止区域を、子どものためにはっきりしてもらいたいということと、学校の校門からすぐ出るとすぐ316号に当たりますので、東側に帰る児童たちが事故にならないように、やっぱり信号機とか横断歩道とか、歩道をしっかり確保していただきたい。それと、保護者がどこから来られるか分かりませんが、厚狭小の校区は結構広いので、保護者の送迎スペースを確保していただきたい。今の厚狭小学校より敷地面積が少なくなりますし、道路が結構混み合っているのも、その辺のことも考えて、混雑しないようなスペースをぜひ考えていただきたいなど。私は特に、交通環境を子どものために整えていただきたいなど

思います。以上です。

○藤田市長 貴重な御意見ありがとうございます。事務局の方で何かありますか。

○和西企画部長 来年度予算化ということで、先ほど市長からも話がありましたが、基本構想に着手する予算を来年度措置するということになっておりますので、今の御意見等を踏まえまして、構想の段階から、しっかりと反映させていくべきところは反映させていかなければいけないというふうに考えているところでございます。

○藤田市長 よろしいですか。ほかにありましたら、どうぞ。

○嶋本委員 ありがとうございます。先ほど市長からお話をお聞かせいただきましたけれども、移転整備に当たって念頭に置くことというところの中で、一つ一つ、なかなかよい話ではないかなというふうに思っています。冒頭の毛利勅子氏の理念の継承というところは、やはりまちづくりというか、自治体が何かやっていくところで、物事を進めていく際に、やっぱりストーリー性みたいなものが非常に重要ではないかなというふうに考えていて、何でこの小学校がここにあるんだろうかとか、実は山口東京理科大学も、それが本当にここにある必然性は何か、みたいなことは常々考えるところがありますので、ぜひこういう毛利勅子氏の理念の継承ということを引き継いでいただいて、これが山陽小野田市全体に波及するようなことになれば、すごく素晴らしいなというふうに思っています。それから、地域交流と地域貢献に関しては、いくつか学校を訪問させていただいている中で、入り口を入ったら、すごく開かれた図書館があって、地域の方が入りやすいというような学校をいくつか見させていただいているので、ぜひ設計段階で、そういうことを考慮した建物づくりというんでしょうかね、地域の方に開かれた、入りやすい、もちろん防犯という観点もあるとは思いますが、そういうような考え方をしていただけるといいのかなと思います。

す。それから、山口東京理科大学との連携につきましては、これまでと同様に、理科教育を中心とした「ほんものの科学」とか、そういうもののでの連携を図っていきたいということと、以前、前回ですかね、お話がありましたように、理系人材の拠点整備といった事業もあると聞いておりますので、その辺も念頭に置きながら、理系人材、専門性だけを磨いていくと、どうしてもそれを使う人間性の問題ということも関わってきますから、STEAM 教育、特にその A、アートがよくわかるような、そういう人たちを、教養の中では意識して人材育成に取り組んでいくような、理系人材の拠点になるような、つながりを持った学校にしていければなというふうに考えております。以上です。

○藤田市長 ありがとうございます。地域の方から、毛利勅子氏との連携というか、それを大切にしたいという思いをずいぶん昔からお聞きしておりますし、大変ゆかりの深いところを新たな教育環境整備の場とするということですから、そこはしっかり進めていきたいと思います。また、最後の大学との連携の中でも、大学でいろんなことに力を注いでいらっしゃる、その中の一つに STEAM 教育もあると思いますので、相手は小学生ではございますけれども、本当に山陽小野田市ならではの教育環境をつくっていただければありがたいなと思っております。よろしく願いいたします。ほかにございますか。どうぞ。

○竹田教育長職務代理者 学校訪問で厚狭小学校を何度も訪問させていただいてますけれども、本当に段差の多い、つぎはぎの多い校舎で、なかなか子どもたちの生活もスムーズには言い難い中、何とかしてもらっていますけれども、もっといい環境があればとずっと思っておりましたので、今回のお話をいただいて、ありがたいなと、私としては本当に思っております。PTA の皆さん方とお話をするときに、昨今いろいろなことがありますので、防犯カメラを、というようなことが出てまいります。なので、通学路、特に死角になりやすい場所とか、人通りの少ない場所に、防犯カメラであったり、夜間の明るい LED の照明なんかも考えていただければなと思

います。それから、厚陽小中学校、埴生小中学校のよい例、あるいは改善点も、それぞれの学校にあると思うんですけども、その辺りもしっかり参考にしていただいて、よりよいものをつくっていただければなと思います。以上です。

○藤田市長 ありがとうございます。事務局、何かありますか。

○矢野教育部長 十分検討してまいりたいというふうに思います。ありがとうございます。今から本当に、地元の方とか保護者の方とか、いろんな意見が出てくるとは思いますが、しっかりこれからヒアリングをして、基本構想や計画に盛り込むということは大切だなと感じております。

○藤田市長 ありがとうございます。最後、いかがですか。

○末永委員 私も、毎年厚狭小学校を訪問させていただくたびに、とても古くて、複雑な、入り口もちょっと分かりにくい校舎なので、下足箱もいろいろなところにありますし、そういう校舎が新しく、子どもたちが過ごしやすい校舎になるということで、とてもありがたいなというふうに思っております。それで、保護者でもありますし、地域のものであるということを考えて上で、やっぱり今、小学校は地域に開かれた学校ということですので、ぜひ皆さん、ほかの委員さんもおっしゃっていただんですけど、駐車場のスペースはぜひ確保していただきたいなと思います。中には送迎が必要な児童もいますし、地域の方がいらっしゃる時も、車が置けるスペースがあるというのはとてもいいと思いますので、必ずしもアスファルトできちとした駐車場ではなくても、スペースがあれば駐車場にも使えるし、子どもたちの屋外活動にも使えるし、というので、そのスペースが少しあるといいかなというふうに思います。いろんな学校に行かせていただきますけど、そのスペースがない学校もたくさんございますので、ぜひ新しくつくられる学校にはスペースがあるとうれしいなというふうに思います。あと、とても個人的なんですけど、プールが、今、全部の小学校、中学校、

本当に老朽化してきています。ただ、それを建て替えるのはとても困難だ
と思うので、どうするかとなると、どこかのスイミングスクールを使うの
か、もしくは本当にプールの授業をやめるところもあるそうなんです
けれど、保護者としては、今、夏休みに入って毎日のように水の事故の話
を聞きますし、そういった面からも、やっぱりプールの授業をするという
のは、子どもたちにとってすごくいい経験になると思っています。もちろ
ん、プールに入ったことのない子も小学生にはたくさんいるので、ぜひ授
業でやって、着衣水泳といって、全部服を着て水の中に入ってみて、本当
にどういうふうに動けないとか、どうやって浮くとかいう、そういう
授業もされていますし、そういう授業がなくなることは問題だなというふ
うに思っています。ぜひ厚狭小学校に、きちっとしたプールを作ってい
だいて、できるならば本当に全天候型の温水プールみたいな、いつでも季
節を問わず使えるプールがあれば、もちろんほかの小学校のプールが老朽
化したときに、厚狭小学校のプールを使うように、市のバスで行って、プ
ールの授業を厚狭小で行うということもできますし、地域の方に開かれて、
そのプールをグラウンドと体育館と同じように使っていただくという方法
もあると思いますので、ぜひプールができれば、立派なプールが建ってく
れるといいなというふうに個人的には思いました。以上です。

○藤田市長 ありがとうございます。ハード面についてのいろんな御意見、御
要望、その中にある駐車場の確保とか、プールをどうするのかという御指
摘も、当然ながら議論のもとになると思いますので、しっかり議論をして
いきたいと思います。はい、どうぞ。

○長友教育長 今の点ですけれども、学校教育に閉じず、施設をいろんな方が
使えることがいいのかなというふうに思います。そうすると、本市ではス
マイルエイジングも掲げておりますし、スポーツ振興にも力を入れており
ます。地域クラブ活動の展開、放課後児童クラブといった居場所づくりな
ど、いろんな要素が学校にも入ってくる部分になると思います。学校教育
ということに閉じずに、柔軟な考え方で、様々なアイデアをぜひいただき

ながら、基本構想ができるといいかなというふうに思います。

○藤田市長 ありがとうございます。ほかに何かありませんか。

○竹田教育長職務代理者 もちろん考えていただけると思いますが、災害時の避難所としての機能の強化ということで、様々な空調とか、マンホールトイレとかいろいろあると思うんですけども、公園化されたところにトイレがあつたりとか、そういうところもあつたりするので、そのあたりもいろいろ工夫していただけたらと思います。それから、学校にいる時ではなくて、登下校の時に災害が発生したときに、学校と地域と保護者と、見守り団体さんとが何かネットワークができていて、その人たちも学校外で何かあつたときにはすぐに情報が流れて、集まれるというか、何か力を貸していただけるというような組織があるといいなと思っています。

○藤田市長 避難所としても十分活用できるというのも大切な視点でもありますし、ソフト面とか、ハードだけではなくて、そういう体制の充実を図っていくことが必要だと思います。ありがとうございます。ほかに何かございますか。今日だけでなく、いよいよスタートということですからね。これからいろんな気づきや御提案もあろうと思いますので、またその都度お伺いできたらと思います。よろしくお願いいたします。

4 その他

○藤田市長 それでは、3、議題は終了とさせていただいて、4、その他でございます。委員の皆さん方から何かございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。特段よろしいですか。では、特にないということですので、最後、事務局から何かございますか。

○河田企画部次長兼企画課長 今後も必要に応じまして、この総合教育会議を開催させていただくことがあろうかと存じますので、その節には御協力の

ほど、どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

○藤田市長 はい。では以上で終了ですので、事務局に進行をお返しいたします。

5 閉会

○和西企画部長 市長、議事進行ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議は終了させていただきます。皆様ありがとうございました。

午後 4 時 3 7 分 閉会
